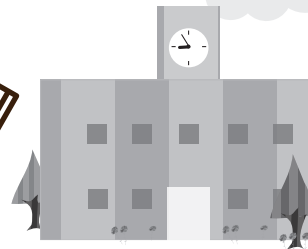


特集 おうちで人権講座



～みんなが幸せに生きるために～

依然として新型コロナウイルス感染症の影響を受け、町民のみなさんも可能な限り外出を控えるなど、いま自分にできることを模索する日々をお過ごしかと思います。

誰もが今までに経験したことのない状況の中で、感染者やそのご家族に思いやりをもって接し、人々の生活を支える医療従事者などには感謝の気持ちを伝える動きが広がっています。

今月号では、人を思いやる心の大切さを改めて学ぶ良い機会として、一人ひとりが心がけるべき「人権」への配慮について考えてみませんか？

オリエンテーション



誰もが互いに尊重し合える
社会の実現に向けての取組

伊奈町教育委員会では、伊奈町人権教育推進協議会と連携し、さまざまな人権教育啓発事業に全力で取り組んでいます。主な活動は、次の4つです。

「学ぶ・気づく・広げる 人権講座」の開催



多様化する人権課題について町民のみなさんと一緒に考える機会として、人権講座を開催しています。参加者に実感の伴った理解を促し、偏見や差別の解消に繋がっています。

※今年度は新型コロナウイルスの影響により開催方法を検討中

「人権標語」の募集

町立小中学校の児童生徒から人権標語を募集し、ポスターを作成しています。公共施設や集会所などに掲示し、学校・家庭・地域との連携を図って啓発活動に取り組んでいます。



「フレンドシップセミナー」の実施



小学校4年生以上の町民のみなさんを対象に、異年齢による団体活動を通してお互いを尊重する気持ちを養う体験学習を実施しています。立場や年齢にとらわれず、さまざまな生き方を受け入れられる心を育成しています。

※今年度は新型コロナウイルスの影響により中止

「人権教育啓発広報紙 みどり」の発行

当協議会による人権教育啓発事業の取組を掲載した広報紙を作成しています。幅広い年齢層に対応した紙面づくりにより、人権課題への理解と周知に努めています。

年度末に全戸配布しますので、ぜひご覧ください。



※「伊奈町人権教育推進協議会」は、区長や民生委員をはじめ学校教育および社会教育関係者などの委員で構成され、町における人権教育の推進を図り、明るい社会づくりに寄与することを活動目的としています。

1 時間目

新型コロナウイルスと心の関係を考えよう

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中で、未知のウイルスと向き合いながら生きていく新しい生活が始まりました。目に見えないウイルスに対する不安は誰もが抱く感情ですが、この不安の高まりが心の余裕を奪うことで心身の不調を招き、時に排他的な行動を引き起こすことがあります。

ウイルスが人の心にもたらす影響とは？

- 1** 未知の病気・目に見えないウイルスに対する強い不安感情により、正しい判断力や思考力が低下する恐れがある



- 2** 不安感情を取り除き、見せかけの安心を得るためにウイルスに関係のある目に見える対象＝「人」を責めることがある



- 3** 感染者や医療従事者、その家族への偏見による差別などの人権侵害が発生する可能性がある



誹謗中傷や、デマなどの誤った情報が拡散する可能性がある

「目に見えないウイルス」に対する不安が、感染者やその家族などの「目に見える対象」へと嫌悪の対象をすり替え、偏見や差別が生まれることがあります。図のような誰にでも起こりうる心理状況の変化は、「新型コロナウイルスに感染すること以上に、差別されることが怖い」という感情を生み、医療機関の受診をためらわせ、感染を拡大させるといった事態を招く恐れがあります。

・ 公的機関の提供する正確な情報をもとに、冷静な行動をしよう！

・ 差別的な言動には同調しない強い意志を持とう！

目の前の「当たり前」に感謝しよう

過去に経験したことのない状況だからこそ気づけることや、新しく学べるものが必ずあります。

伊奈町では、ごみ集積所のごみ袋に収集作業員あての感謝の手紙が添えられていたり、医療機関や学校関係者のために使ってほしいと、手作りマスクなどの寄付がたくさんありました。私たちは厳しい状況を経験したからこそ、これまでの日常は決して当たり前でなかったことに改めて気づき、生活を支えてくれる方々に感謝できたのです。

今後も、相手の立場に寄り添い、今できることを自分にできる形で行動しようとする思いやりの心を広げていきましょう。